

現年
公共事業 令和 07 年度 通常砂防事業（社資交）

合併
工事設計図書

工事番号 通常砂防 第 7001-5-50/号

河川路線名等
工事名 六甲山系グリーンベルト
森林整備業務

工事箇所 西宮市塩瀬町生瀬

細かいそ名 公共事業通常砂防



起工伺兼工事設計書

本庁

県民局

工事業務課

起案

年年

月月

日
日

決定
起工番号 第

課長	副課長	係長	審査
----	-----	----	----

局長	副局長	所長	副所長	課長	精算・審査	設計
----	-----	----	-----	----	-------	----

副所長	課長	担当
-----	----	----

現年

公共事業 令和 07 年度 通常砂防事業 (社資交)

合併

工事番号		通常砂防		第 7001-5- 50 /号		工 事 概 要				
工 事 費						延 長 L =		幅 員 W =		
		実 施 (前回変更) 円	今回変更 円	増 減 額 円		左 岸 L =		右 岸 L =		
設計額 [基準適用]						概 要 名			数 量	単位
請 負 額						広葉樹林等整備			6.42	h a
工 期	施工日数	日				竹伐採跡地整備			0.22	h a
	施工期限	令和 8年 2月27日限り		年 月 日限り		草地整備			0.37	h a
執 行 方 法		委託								

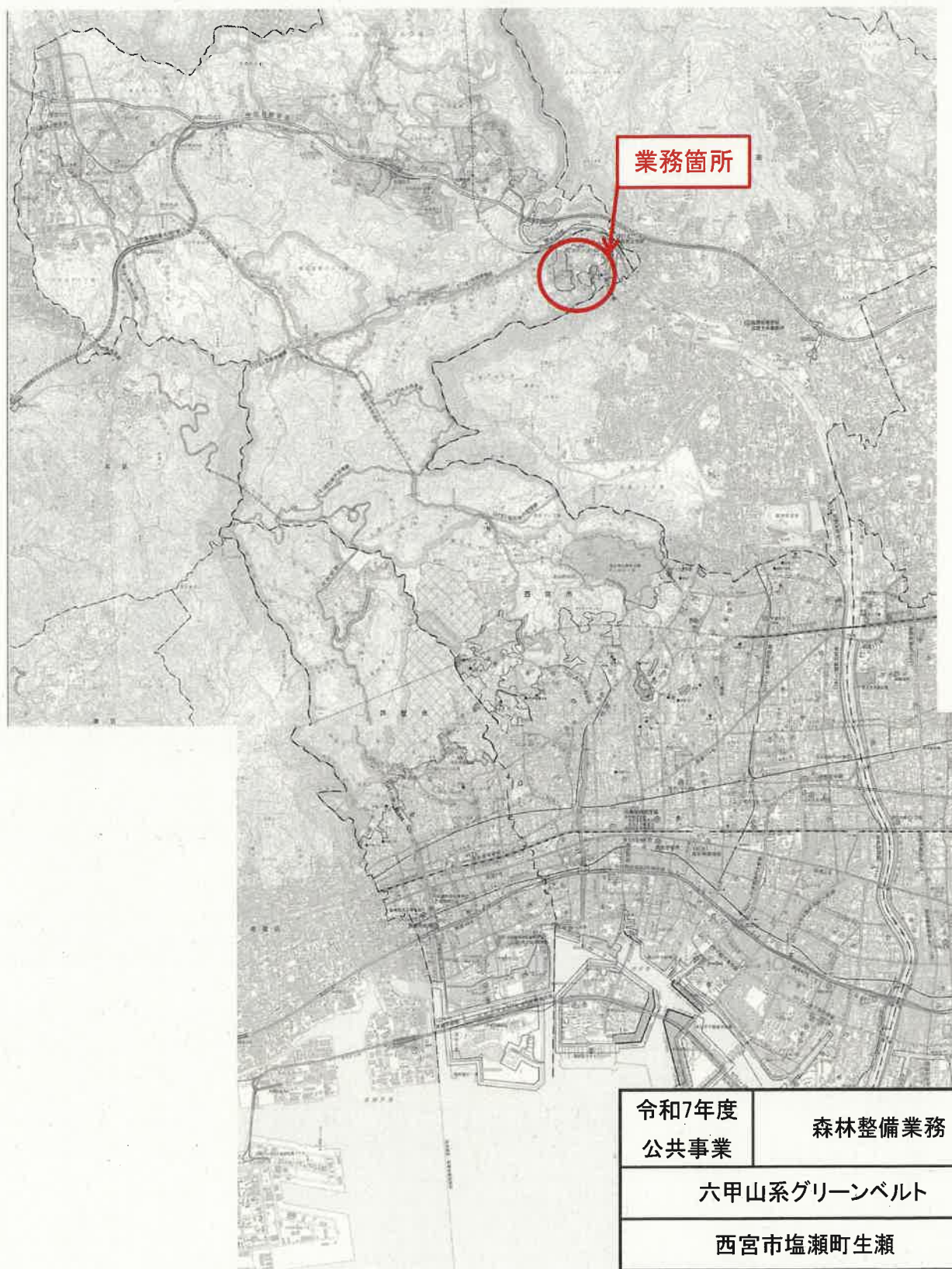
施行管理計画番号	枝番号

會計	
節	
契約方法	
契約理由	

兵庫 県 西宮土木事務所

鏡No.07-0147

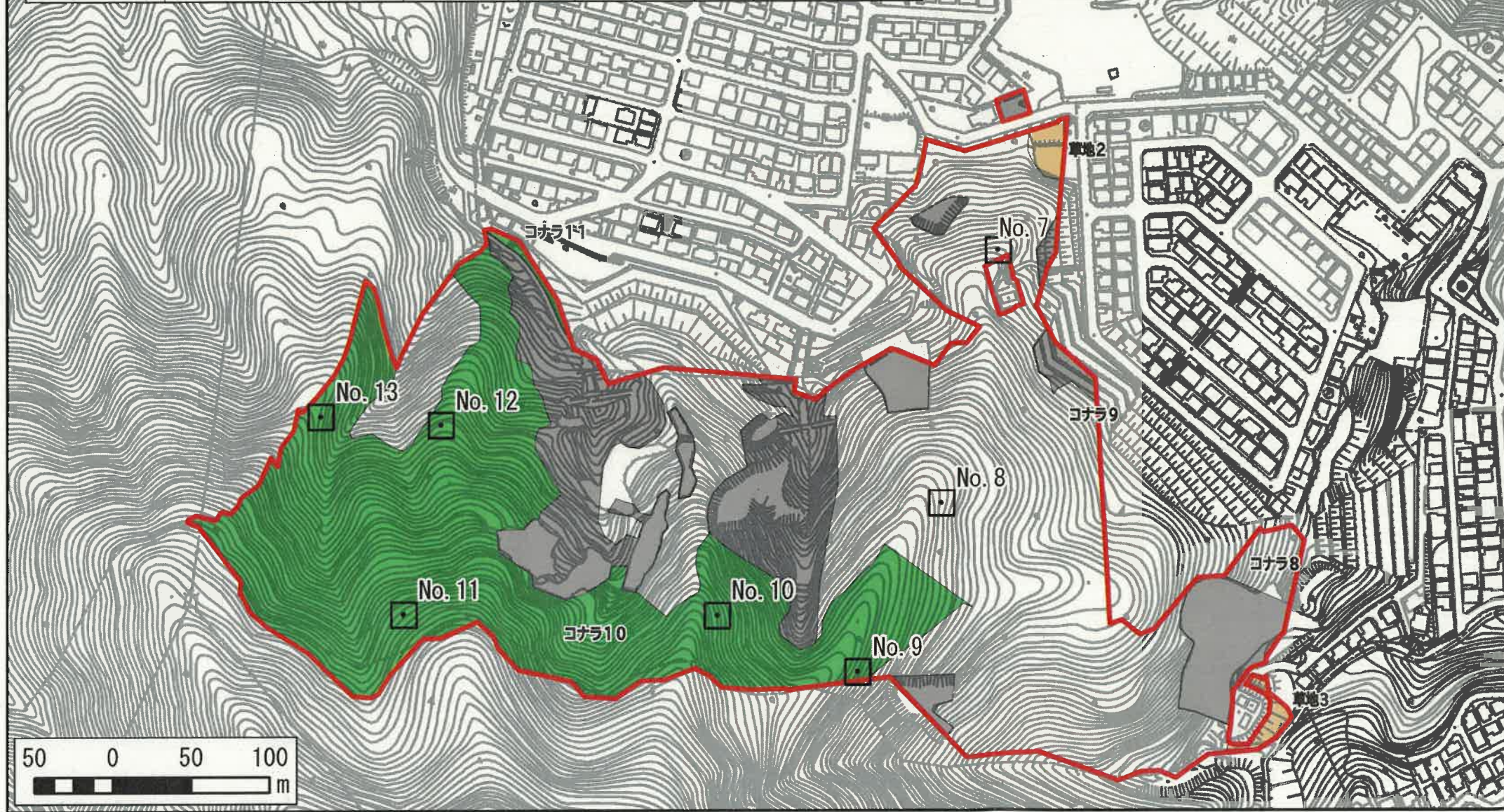
位置図



令和7年度 公共事業	森林整備業務	
六甲山系グリーンベルト		
西宮市塩瀬町生瀬		
位置図	<div>1</div> <div>2</div>	
縮尺:-		
兵庫県		

平面図

整備区分	林種 (個別区分)	区分	個別面積	合計面積	標準地数	標準地番号	工種	
			(ha)	(ha)				内容
	コナラーアベマキ群集	コナラ10	4.89	4.93	5	No.9		
		コナラ11	0.04			No.10		
						No.11		
						No.12		
						No.13		
	コナラーアベマキ群集(竹伐採)	コナラ(竹伐採)1	0.92	1.49			除伐	
		コナラ(竹伐採)2	0.57					
	竹伐採跡群落	竹伐採跡群落1	0.14	0.22			除伐	
		竹伐採跡群落2	0.08					
	草地	草地1	0.24	0.37	一			全域刈払
		草地2	0.07					
		草地3	0.06					
	合計		7.01	7.01	5			
	整備面積		7.01	7.01				



令和7年度 公共事業		森林整備業務	
六甲山系グリーンベルト			
西宮市塩瀬町生瀬			
平面図		2	
縮尺:-			
兵庫県			

契約数量表

頁0-0001/0001

費目・工種明細など		規格1・規格2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
本工事費						
森林整備						
森林整備			式		1	
広葉樹林整備						
広葉樹林整備		コナラアベマキ群集				
広葉樹林等整備		整備本数 100 (本/ha)	ha		4.93	
広葉樹林等整備		標準地内伐採木の直径の和 138 (cm)	ha		4.93	
広葉樹林整備		コナラアベマキ群集（竹伐採）				
地拵え（草刈機・チェーンソー併用）		区分→灌木地（低木）	ha		1.49	
竹伐採跡地整備						
地拵え（草刈機・チェーンソー併用）		区分→灌木地（低木）	ha		0.22	
草地整備		コナラアベマキ群集（竹伐採）				
下刈		全刈り	ha		0.37	
人力地拵え〔片付〕		草（かや等）	m2		3,700	

工 事 名			六甲山系グリーンベルト 森林整備業務			事業区分	(レベル0)	治山林道
						工事区分	(レベル1)	森林整備
工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	名 称	規格 (レベル5)	算 式	数 量	単 位	摘 要
本工事 森林整備								
		広葉樹林整備						
		広葉樹林整備 コナラ-アベマキ群衆						
			広葉樹林整備	刈払い集積		4.93	ha	コナラ10～11
			広葉樹林整備	伐倒整理		4.93	ha	〃
		広葉樹林整備 コナラ-アベマキ群衆 (竹伐採)						
			地拵え	灌木地 (低木)		1.49	ha	
		竹伐採跡地整備						
			地拵え	灌木地 (低木)		0.22	ha	
		草地整備						
			下刈	全刈・1回		0.37	ha	
		地拵え	片付け 草	0.37 × 10000	3,700	m2		

特記仕様書

業務名：六甲山系グリーンベルト 森林整備業務

工事場所：西宮市塩瀬町生瀬

工期：令和7年11月1日から令和8年2月27日
(余裕期間：契約締結日から令和7年10月31日まで)

(特記仕様書の適用)

第1条 本特記仕様書は、上記記載の業務に適用する。

(適用する図書)

第2条 本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によらなければならない。

なお、以下の図書は随時改定が行われるため、常に最新の内容に基づき施工を行うものとする。

土木工事共通仕様書	(兵庫県土木部)
土木工事施工管理基準	(兵庫県土木部)
土木請負工事必携	(兵庫県土木部)
小型構造物標準図集	(兵庫県土木部)
治山林道必携	((一社) 日本治山治水協会、日本林道協会)

(余裕期間 発注者指定方式)

第3条 本業務は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間（契約締結日から工期の始期日の前日までの期間）を設定した業務（発注者指定方式）である。

余裕期間内は、管理技術者の配置は要しないが、現場技術者の配置は要する。ただし、余裕期間内に限り常駐は不要とし、他の業務従事中の現場技術者を充てることができる。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

2 契約締結後において、工期の始期日の変更の必要が生じた場合には、監督員と協議の上、変更契約（工期の変更）を締結することにより、工期の始期日を変更することができる。

3 コリンズ（CORINS）に登録する技術者の従事期間は、工期（工期の始期日から終期日）とする。

4 受注者は、工期の始期日の前日までに、工事に従事する管理技術者等を決定し、「工事施工計画及び下請負人等（変更）通知書」により、発注者に通知しなければならない。

(業務内容)

第4条 本業務の概要は以下のとおり。

① 広葉樹林整備（コナラアベマキ群集）

- ・亜高木層以下の常緑樹を伐採・除伐し、林床照度の改善を図り、下層の発達を促す。
- ・伐採、除伐時には、落葉広葉樹（実生を含む）を誤伐することのないよう留意する。
- ② 広葉樹林整備（コナラアベマキ群集（竹伐採））
 - ・亜高木層以下の常緑樹を伐採・除伐し、下層の復元した竹を除伐することで、階層の発達を促す。
 - ・伐採、除伐時には、落葉広葉樹（実生を含む）を誤伐することのないよう留意する。
- ③ 竹伐採跡地整備
 - ・復元した竹の除伐・刈払いを行う。
 - ・除伐及び刈払い時には、落葉広葉樹（実生を含む）を誤伐することのないよう留意する。
- ④ 草地整備
 - ・適切に管理出来るよう、刈払いを行う。

（自生植物）

第5条 着手前に現地踏査を行い、サカキやウラジロ等神棚に飾る植物の有無を確認し、監督員に報告すること。自生していた場合、伐採せず保存することとし、困難な場合は、監督員と協議し、指示を受けること。

（危険木）

第6条 業務範囲において、通行人や人家に影響を与える恐れのある倒木や枯木等の危険木を発見した場合は、監督員に報告すること。その危険木の伐木を監督員から指示された場合は、対応することとし、設計変更の対象とする。

（運搬費及び処分費）

第7条 本業務により伐採した樹木は、転落、流出しないように現地に集積するものとする。ただし、現地の状況によりこれが困難な場合は、運搬処分を行うこととし、監督員と協議し、設計変更の対象とする。

（外来生物駆除）

第8条 業務着手前に業務区域内において、測量、現地踏査等を行った際に、以下に示す特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。

・特定外来生物の種類：

アルテルナンテラ・フィロクセロイデス(ナガエツルノゲイトウ)、ヒースティア・ストラティオテス(ボタンウキサ)、アゾル・クリスタタ、コレオプシス・ランケオラタ(オギンケイギク)、ギュムノコリス・スピラントイデス(ミズヒマリ)、ルトベキア・ラキニアタ(オハシゴソウ)、セネキオ・マダガスカリエンシス(ナルサワギク)、スイキョス・アンゲラトウス(アチウリ)、ミユリオフォルム・アクアティクム(オオササモ)、ルトウイギア・グランディフロラ(オハナミズキンバイ等)、ウエロニカ・アサガルリスーアクアティカ(オカワヂシャ)、の植物 11 種（写真参照。詳細については、下記の環境省ホームページ URL：<http://www.env.go.jp/nature/intro/loutline/list/#sho> を参照。）

2. 特定外来生物の生育が確認され防除を行う場合、別紙の対応フローに基づき適正な処理を行うこと。なお、施工（業務）計画書にその処分・運搬方法等について記載すること。

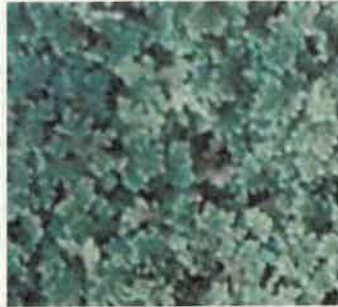
<参考写真>



ナガエツルノゲイトウ



ボタンウキクサ



アゾラ・クリスタタ



オオキンケイギク



ミズヒマワリ



オオハンゴンソウ



ナルトサワギク



アレチウリ



オオツサモ

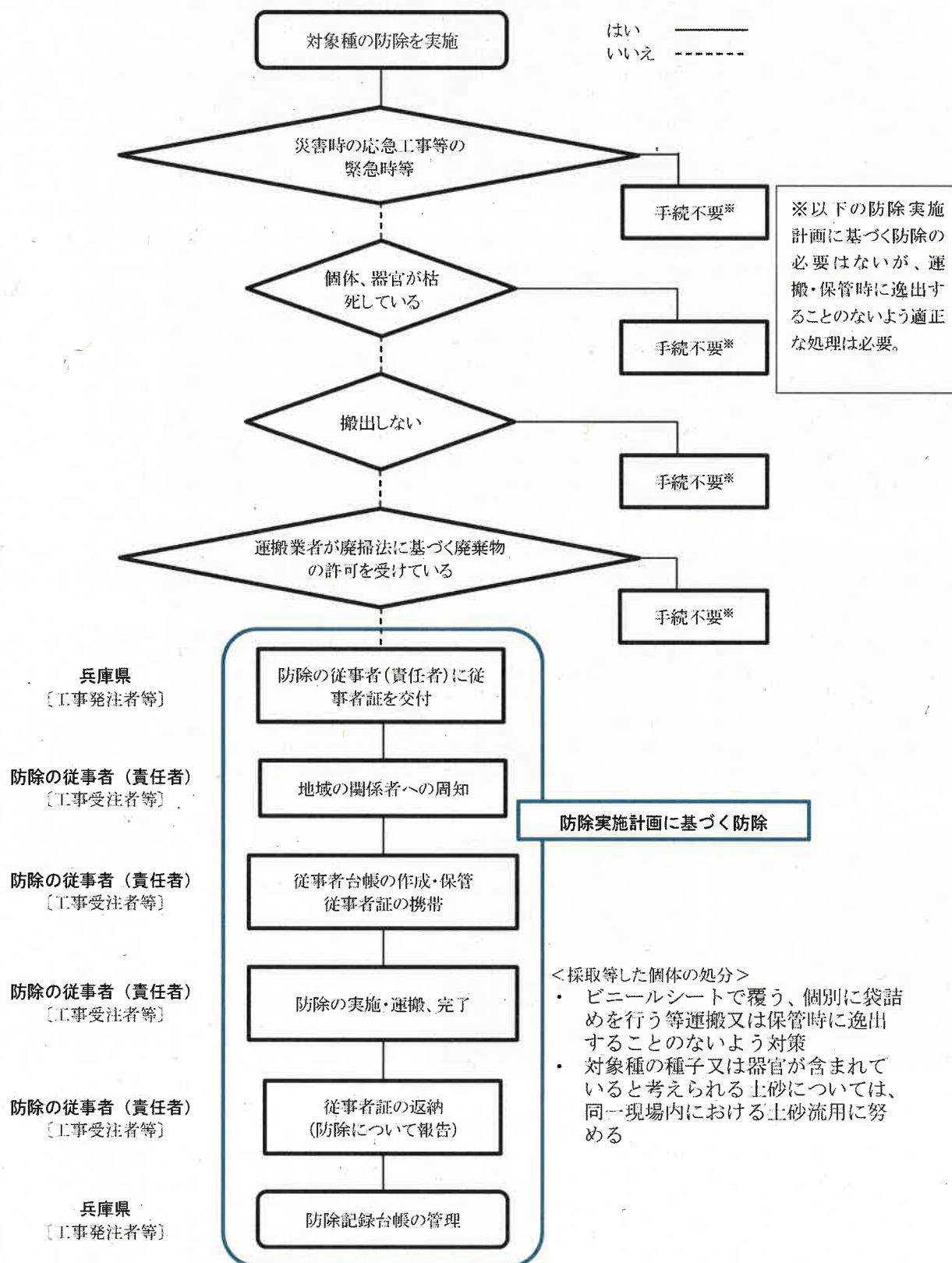


オオバナミズキンバイ



オオカワヂシャ

対応フロー①（地方公共団体が実施主体の場合）



（クビアカツヤカミキリの防除について）

第9条 工事（業務）区域内において、*Aromia bungii*（クビアカツヤカミキリ）が確認された場合は、監督員に報告すること。

- ・寄主植物：サクラ、セイヨウスモモ、ウメ、モモ、カキ、オリーブ、ハコヤナギ、ザクロ、コナラ、ヤナギ等

(安全対策費)

第10条 当初、交通誘導員を計上していないが、施工中の安全確保のため、交通誘導員が必要な場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(安全施設類)

第11条 識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。

なお、打合わせの結果または条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(出来形数量の提出)

第12条 受注者は、工事の進捗に応じて、出来形数量を算出し、その結果を監督員の指示する日までに提出するものとする。

(工事現場における説明性の向上)

第13条 受注者は、事業名、事業の内容、効果、連絡先を記した説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、安全確保に支障のない範囲において、当該説明書を配布する等、現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は現場作業員に対し、内容及び事業目的、効果を周知するものとする。

(快適トイレ)

第14条 快適トイレの仕様は以下（１）～（３）のとおり。

「（１）快適トイレに求める機能」「（２）快適トイレとして活用するために備える付属品」については、現場に導入するにあたり必ず備えるものとし、「（３）推奨する仕様、付属品」については、装備していればより快適となるものとする。

（１）快適トイレに求める機能

ア 洋式便座

イ 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付きを含む）

ウ 臭い逆流防止機能（フラッパー機能）

（必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策をとること）

エ 容易に開かない施錠機能（二重ロック等）

（二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）

オ 照明設備（電源がなくても良いもの）

カ 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重5kg以上）

（２）快適トイレとして活用するために備える付属品

ア 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

イ 入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）

ウ サニタリーボックス（女性専用トイレに限る）

エ 鏡付きの洗面台

オ 便座除菌シート等の衛生用品

（３）推奨する仕様、付属品

ア 室内寸法900×900mm以上（半畳程度以上）

イ 擬音装置

- ウ フィットティングボード
- エ フラッパー機能の多重化
- オ 窓など室内温度の調整が可能な設備
- カ 小物置き場等（トイレトペーパー予備置き場）

（提出書類）

受注者は、快適トイレの設置に取り組む場合は、快適トイレチェックシート（協議）を作成し、工事契約後、仕様が確認出来るパンフレット・見積書等の資料とともに提出し監督員と協議を行うものとする。

工事完了後、快適トイレ設置実績報告書と写真データをあわせて監督員に提出すること。

（熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事）

第 15 条

- （1）本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。
- （2）受注者は、現場管理費の補正を希望する場合は、施工計画書に本試行工事の工事期間中における真夏日の計測方法及び観測箇所を明示すること。
- （3）真夏日とは日最高気温が 30℃以上の日をいう。
ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が 30℃以上の場合とする。
なお、WBGT を用いて真夏日を計測する場合は、WBGT が 25℃以上となる日数を真夏日とみなす。
- （4）工期とは、工事着手日から工事完成日までの日数をいう。ただし、年末年始 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。
- （5）対象期間内の真夏日率の算出の考え方は、次のとおりとする。
$$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$$
- （6）受注者より提出される計測結果資料により真夏日率を確認後、現場管理費率を補正し、請負契約書第 24 条の規定に基づき請負代金額を変更する。

（法定外の労災保険の付保）

第 16 条 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならず、契約書第 57 条（火災保険等）に基づき、受注者は保険契約を締結したのち、その証券等を発注者に提示すること。

（架空線（関西電力）の防護管取付け）

第 17 条 関西電力が保有する架空線等に防護管の設置が必要な場合は、防護管施工会社へ申込みの上、監督員とともに防護管施工会社と立会を行い、防護管の必要範囲を決定すること。また、防護管施工会社より見積書及び請求書を受領した際は、その写しを監督員へ提出し確認を受けること。

（週休 2 日制度）

第 18 条 本工事は、原則週休 2 日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休 2 日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板に明記すること。
（受注者は 契約後、施工計画書を提出する。） 建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休 2 日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行う。

- 2 天候や地域住民対応等で土曜・日曜の施工が必要となった場合は、監督員と協議のうえ、振替休日を取得する等、週休2日に努めること。(但し、工事成績評定の加点等については、土曜・日曜の現場閉所 に限定して評価するが、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。)
- 3 現場稼働中の工期〔工事着手 (現場測量等) 前、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕の原則土曜・日曜の現場閉所 (以下「現場閉所」という。) の達成状況 (平日振替日を含む) に応じて工事成績の評価を行う。
- 4 現場閉所の確認のため、受注者は工事履行報告書を提出すること。
- 5 労務費等の補正については、当初予定価格に4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況が4週8休に満たないものは現場閉所の達成状況に応じて請負代金額のうち補正分を減額変更する。
- 6 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等 (監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐) が休日に書類作成等の内業や他の現場に従事することを制限しない。但し、専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。

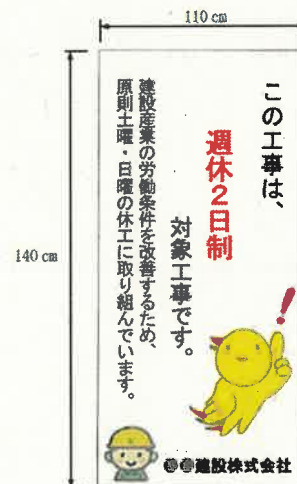
《現場閉所の達成状況》

現場閉所日数 (平日振替日を含む) を現場稼働中の土曜・日曜の全日数で除し、少数点以下を四捨五入する。

※悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。

	補正係数	
	4週8休以上達成の場合	
	土日現場閉所	交替制 (月単位)
労務費	1.04	1.04
機械経費(賃料)	1.02	—
共通仮設費率	1.03	—
現場管理費率	1.05	1.03

＜週休2日制度対象工事であることを明記する工事看板例＞



(ウィークリースタンス)

第19条 本業務は、ウィークリースタンスの対象である。実施にあたっては、「ウィークリースタンス実施要領 (案)」に基づき、受発注者相互に協力し、取り組むものとする。

(その他)

第20条 特記仕様書に記載のない事項および疑義が生じた場合は、監督員と協議のこと。